腎盂尿管がんに対するBCG治療に関する研究のお知らせ

帝京大学ちば総合医療センターでは以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間:2026 年 11 月 17 日 ～ 2028 年 3 月 31 日

〔研究課題〕

上部尿路上皮癌に対するBCG治療の検討

〔研究目的〕

上部尿路上皮癌(腎盂尿管がん)に対して臓器温存治療としての BCG 注入療法を施行した症例の治療成績を検討いたします。

〔研究意義〕

現在腎盂尿管がんに対する標準的な治療方法は，外科的摘除である腎尿管全摘除術です。一方で同じ尿路上皮癌である膀胱癌の場合，初期の症例に対しては臓器温存治療を施行しております。具体的には内視鏡的腫瘍切除後に必要に応じてBCG膀胱注入療法を施行しております。

当院では一部の腎盂尿管がんにおいて，腫瘍量の少ない症例，あるいは上皮内癌と考えられる症例に対し，臓器温存療法としての BCG の上部尿路への注入療法を施行しております。それらの治療成績を評価することにより，治療法としての妥当性つきまして検証したいと考えております。

〔対象・研究方法〕

2012 年 4 月より 2026 年 3 月 31 日までの間に帝京大学ちば総合医療センターにおいて，腎盂尿管がんに対しBCG治療を行った症例に対し臓器温存期間、無再発生存期間、およびそれらに影響を及ぼす因子について検討します。

〔研究機関名〕

帝京大学ちば総合医療センター

〔個人情報の取り扱い〕

氏名・生年月日・住所・電話番号などの個人情報はすべて個人情報がわからない様に加工してから解析することにより、個人情報の漏洩を防止いたします。研究成果は、医学の発展のために学会発表や学術論文発表などをさせていただくことがありますが、その際も個人の特定が可能な情報はすべて削除いたします。研究にご協力いただけない場合は情報の対照表からの削除や、収集済み情報の廃棄を行いますが、既に解析が終了し研究成果が公表されている場合には、情報を廃棄できないことがあります。研究対象に該当するか否かにより、実際の診療内容に影響することはございませんし、研究にご協力いただけない場合でも診療上の不利益を受けることはございません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者:氏名　　納谷幸男　　職名　教授
研究分担者:氏名　　荒木千裕　　職名　准教授
所属:　帝京大学ちば総合医療センター泌尿器科
住所:　千葉県市原市姉崎 3426-3　 TEL:0436-62-1211(代表)